

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-131	15-028	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Predictors of alcohol and tobacco use prior to and during pregnancy in the US: the role of maternal stressors. 米国における妊娠前・妊娠中の飲酒および喫煙の予測因子：母体へのストレス要因の役割		
執筆者		
Witt WP, Mandell KC, Wisk LE, Cheng ER, Chatterjee D, Wakeel F, Park H, Zarak D.		
掲載誌		
Arch Womens Ment Health. 2015 Jun;18(3):523-37. doi: 10.1007/s00737-014-0477-9.		
キーワード		PMID
ストレスフルライフイベント ストレス要因 妊娠 飲酒 喫煙		25449635
要 旨		
<p>目的： 妊娠前のストレスフル・ライフイベント（PSLEs）と妊娠前・妊娠中の飲酒・喫煙との関連を検討した。</p> <p>方法： The Early Childhood Longitudinal Study - Birth Cohort 研究において 2001 年の調査に参加した 9,350 名を本研究の対象とした。両親の死、配偶者の死、先に生まれた子どもの死、離婚、不妊を PSLEs と定義した。妊娠前の 3 ヶ月間および妊娠最後の 3 ヶ月間における飲酒および喫煙について調査した。PSLEs と妊娠前・妊娠中の飲酒および喫煙との関連は、他の交絡因子の影響を調整した重回帰分析で検討した。</p> <p>結果： 何らかの PSLEs を経験した女性において、妊娠前および妊娠中における喫煙のオッズ比は 1.52 (95%信頼区間 1.23-1.87) および 1.57 (1.19-2.07) と上昇していた。PSLEs を経験した女性は、妊娠前の 3 ヶ月間にほぼ 5 箱 (97 本) の煙草を吸っていた。また、PSLEs を経験した女性における妊娠最後の 3 か月におけるアルコール摂取量も、PSLEs を経験していない女性に比べて 0.31 単位多かった。</p> <p>結論： 妊娠前の PSLEs は、妊娠前の喫煙および妊娠中の飲酒・喫煙と関連していた。妊娠前後の飲酒・喫煙のスクリーニングおよび禁酒・禁煙指導が、特に PSLEs を経験した女性において、重要である。</p>		